

## 笑顔ふやそう！～違いを認めて～

|      |   |   |  |
|------|---|---|--|
| 所属   | 愛知県名古屋市立宮前小学校   | 実践者   | 三小田 京子   |
| 対象   | 小学校3年生  | 時間数   | 9時間  |
| 場所   | 教室  | 実践教科  | 道徳・特別活動  |
| ねらい  | <p>テーマ【共生・コミュニケーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エチオピアを通して、世界の国の文化や出来事に興味をもち、多様性や、同一性に気付く。</li> <li>・他者とよりよい関係を築くために、違いを受容することや、話し合うことの必要性に気付く。</li> <li>・周りの人のために、自分のできることを考える。</li> </ul> |   |  |
| 実践内容 | 回   | プログラム   | 備考   |
|      | 1   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆エチオピアを知ろうⅠ &lt;エチオピアに興味をもつ&gt;</li> <li>・コーヒークイズ・エチオピアの紹介【クイズ】</li> <li>・エチオピアのこれが知りたい！【ポップコーン】</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイント、</li> <li>・コーヒー資料</li> </ul>                               |
|      | 2-3   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆エチオピアを知ろうⅡ &lt;エチオピアに肯定的に出会う&gt;</li> <li>①笑顔いっぱい、エチオピアってこんな国</li> <li>・エチオピアの写真や動画を見る【クイズ】</li> <li>②エチオピアを体験しよう【体験】</li> <li>・挨拶・民族衣装・アクセサリ・楽器・コーヒーセレモニー・ダンス</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイント(エチオピアの写真・動画)</li> <li>・現地で購入した物(民族衣装・コーヒーポットなど)</li> </ul> |
|      | 4   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆エチオピアと日本は違いだけ？【フォトランゲージ・対比表】</li> <li>・違いだけでなく、つながりや同一性があることに気付く</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・エチオピアの人々の写真</li> </ul>   |
|      | 5-6   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆いろんな違い～あっていい違い・ダメな違い～【フォトランゲージ】</li> <li>①エチオピアの悲しみく民族対立、靴磨きの少年&gt;</li> <li>②「違い」について考えよう</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・靴磨きの少年(動画)、民族の旗</li> </ul>   |
|      | 7   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆違いを認め合っていくには、どうしたらいいのかな</li> <li>・自分の中にある「思い込み」に気付く【レヌカの学び(エチオピア版)】</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発教育協会(DEAR)発行『レヌカの学び』</li> </ul>                                  |
|      | 8   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆世界の悲しみ ～笑顔を増やそう～</li> <li>・世界の挨拶(中国・ロシア・ウズベキスタン・コロンビア)【体験】</li> <li>・ロヒンギャの人々の現状を知り、自分なりの思いをもつ【ホー・ポノポノ】</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中日新聞『ロヒンギャ』(世界と日本大図解シリーズ No.1331)</li> </ul>                       |
|      | 9   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆中国からの転校生を笑顔にしよう</li> <li>・転校生の気持ちを考える【ポップコーン】</li> <li>・自分達のできることを考え、行動目標をたてる【派生図】</li> </ul>   |  |
|      | 成果  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・エチオピアに興味をもち、日本以外の国の文化や出来事に興味をもつことができた。</li> <li>・問題を解決するには、話し合うことが大切だと気付くことができた。</li> <li>・自分の考えや行動を変える必要性を感じ、行動しようとする事ができた。</li> </ul>                                   |  |
| 課題   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の世界の出来事、問題への興味・関心や、多様性を受容する態度の継続。</li> <li>・問題解決の手段としての話し合いの習慣化。</li> <li>・気付きを深めて、行動するプログラムの工夫、効果的な参加型手法の取り入れ方。</li> </ul>                                       |   |  |
| 備考   |   |   |  |

## [授業実践の詳細]

### 1 時限目「◆エチオピアを知ろう！＜エチオピアに興味をもつ＞」

#### この時限のねらい

- ・エチオピアの国について知る。
- ・エチオピアと日本のつながりがあることを知り、興味をもつ。

#### 1 児童生徒の活動の流れ

- ① コーヒークイズ【クイズ】  
コーヒーとエチオピアについてのクイズに答えた。コーヒーは木の実から作られていることや、初めて作られた地がエチオピアであること、日本にも輸出されていることを知る。
- ② エチオピアの概要を知る。(スライド)  
グーグルマップで、エチオピアの位置や地形を確認した後、エチオピアの人や動物の紹介を見る。
- ③ エチオピアのこれが知りたい！【ポップコーン】  
調べてほしいことや、知りたいと思ったことを発表する。

コーヒー豆はどこでつくっているでしょう？

- ▶ 1、宮前小学校
- ▶ 2、北海道
- ▶ 3、愛知県
- ▶ 4、外国

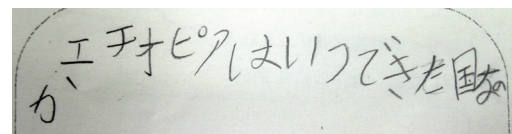
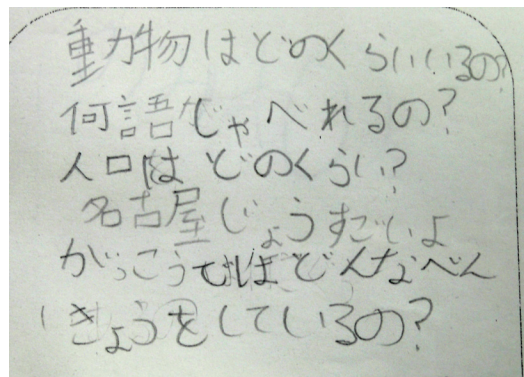
では、コーヒーがはじめてつくられた国はどこでしょう。

- ▶ 1、ブラジル
- ▶ 2、エチオピア
- ▶ 3、ラオス
- ▶ 4、インドネシア

＜コーヒークイズ＞

#### 2 児童生徒の活動の成果・反応

- ◇ エチオピアを初めて知る児童がほとんどで、遠く離れた国でも日本と同じコーヒーを飲んでいるのが不思議そうだった。人々の写真を見せると、見慣れない服や髪形に驚いた様子だった。
- ◇ アフリカと知り、石油や狩猟を思い浮かべる子どもがいた。しかし、エチオピアでは、身近な飲み物であるコーヒーを作り、飲んでいることを確認すると、子ども達は、自分のもっているイメージと違うことに気が付き、衣食住や文化に興味をもった。そして、知りたいことだけでなく、逆に見てもらいたいことも挙げることができた。



＜知りたいこと、見てもらいたいもの＞

#### 3 使用した教材

＜教材1＞ コーヒークイズ パワーポイント

＜教材2＞ AGF <http://www.agf.co.jp/enjoy/cyclopedia/zatugaku/circumstances.html>

## 2-3 時限目「エチオピアを知ろうII <エチオピアに肯定的に出会う>」

### この時限のねらい

- ・エチオピアの人々や文化に出会う。
- ・体験をすることを通して、異文化を肯定的に受け入れる。

### 1 児童生徒の活動の流れ

#### ① 笑顔いっぱい、エチオピアってこんな国【エチオピアクイズ】

- ・前時で、子ども達が「知りたい」と思っているエチオピアの写真や動画を見て、クイズに答える。



<エチオピアクイズ>

#### ② エチオピアを体験しよう【体験】

- ・民族衣装やアクセサリを身につけたり、楽器を鳴らしてみたりする。
- ・エチオピアと同じように、お湯にコーヒの粉を入れて煮るのを見たり、一緒に食べるコロを手にとったりして、コーヒーセレモニーを体験する。
- ・エチオピアの子どもが遊びでするダンスに挑戦する。



<民族衣装を着る児童>

### 2 児童生徒の活動の成果・反応

- ◇ とても意欲的に、楽しんで参加していた。また、教師が実際に行って取ってきた写真は、子ども達にとって、異文化を“本当のこと”だと受け入れやすかったと感じた。
- ◇ コカ・コーラに書かれたアムハラ文字やアボガドのジュースなど、これまで知らなかった文化を知ること、世界にはいろいろな文化があると、多様性に気付くことができた。
- ◇ サッカーをしている近くにヤギがいたり、レストランで手洗いの水をかけてくれる人がいたりするなど、環境や習慣の違いもあることに気付くことができた。
- ◇ 民族衣装を着てアムハラ語で挨拶しエチオピア人になりきってみたり、楽しんでダンスを繰り返して踊ったりすることで、エチオピアという国に親しみを感じてきたようだ。「テレビでエチオピアをやっていた。」と、うれしそうに話に来る子どもがだんだんと増えている。
- ◇ また、蚊よけの独特の香りのするアクセサリを身につけたり、手織りのスカーフを実際に手に取ったりすることで、工夫や技術に気付くことができた。



<ダンスを練習する児童>

### 3 使用した教材

<教材3> エチオピアクイズ パワーポイント(教師海外研修で撮った写真・動画)

<教材4> 民族衣装・アクセサリ・コーヒー粉・コーヒーセレモニー用ポット・コロ・インジェラ粉・楽器

## 4 時限目「エチオピアと日本は違いだけ？」

### この時限のねらい

- ・エチオピアと日本の間には、違いだけでなく、つながりや同一性があることに気付く

### 1 児童生徒の活動の流れ

- ① 前時のエチオピアについての思ったことや、気付いたことを思い出す。【ポップコーン】
- ② 初めての見る写真を、グループで説明し合う。【フォトランゲージ】
- ③ 気付いたことを発表し、日本と違うこと、そうでないことに分ける。【ポップコーン・対比表】

### 2 児童生徒の活動の成果・反応

- ◇ 小学校の写真から、子ども達は「僕は、学校で英語を勉強しています。友達がたくさんいます。」と、楽しそうに説明していた。また、機織りの写真では「この仕事が好きだ。お金持ちの日本人にたくさん買ってほしいと思っている。」など、日本とのつながりに気付くことができた。
- ◇ 肌の色や食事などの目に見える違いや、家族を思う気持ちや、笑顔といった心情などの同一性に気が付くことができた。



### 3 使用した教材

<教材5> 教師海外研修で撮った写真

## 5-6 時限目「いろんな違い ～あつていい違い・ダメな違い～」

### この時限のねらい

- ・世界の中には、同じ国の中に民族対立があったり、学校に行けず、家族のために働く子どもがいたりすることを知る。
- ・違いには、あつてもいい違いと、あつてはいけない違いがあることに気付く。

### 1 児童生徒の活動の流れ

- ① キター ゲーム【アイスブレイク】
  - ・クラスみんなで手をつなぎ、手の握りを全員に伝える時間を計る。
- ② エチオピアの悲しみ<民族対立・靴磨きの少年>【フォトランゲージ】
  - ・エチオピアの陸上選手の写真や靴磨きの少年の動画を見て、何をしているのか考える。
- ③ 前時までの日本とエチオピアの違いと、今回の違いについて考える。【ポップコーン】

<靴磨きの少年>

### 2 児童生徒の活動の成果・反応

- ◇ 靴磨きの少年の理解が難しく、親に保護されない子どもがいる、ということに納得するまでに時間がかかった。「かわいそう、エチオピアの子どもはすごい。」という意見が出た。
- ◇ 前時までの日本とエチオピアの違いと、今回の違いについて、「これまでの違いは、当たり前の違いだけど、今回の違いは悲しい。可哀そう。」という意見が出て、あつていい違いと、あつてはいけない違い

について気付くことができました。

### 3 使用した教材

- <教材6> 教師海外研修で撮った写真・動画
- <教材7> 朝日新聞デジタル <http://www.asahi.com>
- <教材8> 民族旗のデザインのポーチ

## 7 時限目「違いを認め合っていくには、どうしたらいいのかな」

### この時限のねらい

- ・自分の中に、「思い込み」があることに気付く。
- ・違いを認め合うには、自分の中の考えも変える必要があることを実感する。

### 1 児童生徒の活動の流れ

- ① エチオピアの小学校について知る。
- ② エチオピアの校長先生がエチオピアにいた時の習慣と、日本に来た時の習慣や、日本とエチオピア歴史等のカードがバラバラになったものを、グループで話し合いながら、国別に分ける。

【レヌカの学び(エチオピア版)】

- ③ カードを裏返し、パズルをして、分けたカードの答え合わせをする。
- ④ カードの解説を聞き、自分の中に「思い込み」があることを知る。



<カードを日本とエチオピアに分ける子ども>

### 2 児童生徒の活動の成果・反応

- ◇ 全員意見が一致したカードにも間違いがあり、自分だけでなく集団の中にも「思い込み」があることに気付くことができました。
- ◇ 人には「思い込み」があり、そのために事実と違うことでも「正しい」と考えることがあることや、「思い込み」は、人の見ただけで判断すること等から起こることに気付くことができました。そして、それは自分の心の中に問題があることに気付く子どもがいた。また、「思い込み」のために、人が悲しい思いをすることにも気付くことができました。
- ◇ 人が悲しい思いをしないためには、話し合いをする、協力をするという意見や、「自分の考えが間違っていることがあるから、本当のことを調べる」という意見もあり、自分の中の考えを変える必要性を感じる子どもがいた。

|   |                                  |  |
|---|----------------------------------|--|
| 学校におやつ<br>や飲み物を持<br>てきて、食べた<br>り、のんびりする<br>子がいます。 | きょう育にかけ<br>るお金は、せかい<br>だい185位です。 | 3000年の歴<br>史があります。                             |
| わたしはトイレ<br>で用をだした後<br>に、いつも水であ<br>らいます。           | わたしは朝ご<br>はんは、かならず<br>食べます。      | わたしは朝ご<br>はんを食べる前<br>にかならずせけん<br>で手をあらいま<br>す。 |
| やさいやくだも<br>のを買うときは<br>よくえらんで買<br>います。             | 子どもたちは、よ<br>くちこくしてま<br>います。      | 学校ではちが<br>う年の子どもが<br>いっしょにべん強<br>します。          |

<レヌカの学び エチオピアのカード>

|                               |                                   |   |
|-------------------------------|-----------------------------------|---|
| 学校で、食べ<br>物を全員にく<br>ります。      | きょう育にかけ<br>るお金は、せかい<br>だい115位です   | 食べるときに、<br>音をたてる<br>ことがあります。                        |
| わたしは、まち<br>あわせの時間<br>をおくれません。 | わたしは朝ご<br>はんを、食べ<br>ることもあり<br>ます。 | 子どもたちは、<br>手作りするお<br>もちゃであそ<br>んでいること<br>もあるま<br>す。 |
| わたしは、「おぞ<br>ね、おぞおき」<br>をします。  | 子どもたちは、め<br>ったにちこく<br>しません。       | 学校では同じ<br>年の子どもが<br>いっしょにべん強<br>します。                |

<レヌカの学び 日本のカード>

|          |                     |
|----------|---------------------|
| 85位。     | なんできょう育にかけるとがエチオピアの |
| こ        | ほうかたかいの?            |
| ちこくしてくる。 | おきるのか早いのにどうして、      |
| こ        | ちこくするのかな?           |

<間違えたカードとその感想>

みんなと自分の心のちがいを  
けしてそれがこわいわけじゃなくて  
みた目がこわいだけ  
だからはなせたいの

<レヌカの学びの感想>

### 3 使用した教材

<教材9> 特定非営利活動法人 開発教育協会/DEAR 『レヌカの学び』

## 8 時限目「世界の悲しみ ～笑顔を増やそう～」

### この時限のねらい

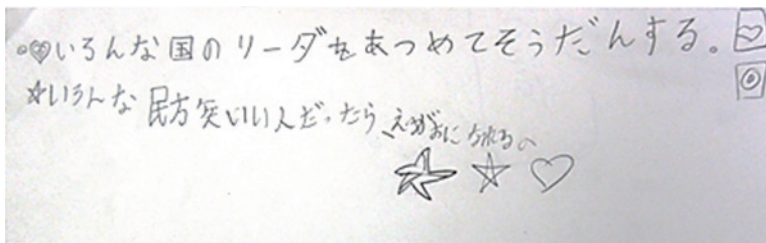
・ロヒンギャの人々について知り、自分なりの思いをもつ。

### 1 児童生徒の活動の流れ

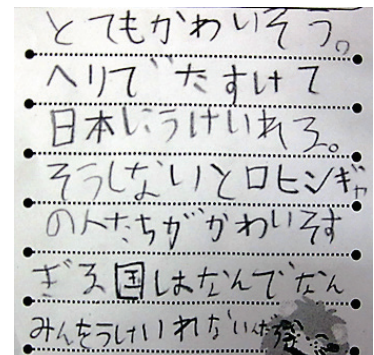
- ① 世界の挨拶(中国・ロシア・ウズベキスタン・コロンビア)【体験】  
クラスの子どもの家で話している言葉で、「こんにちは」と挨拶する。
- ① 新聞を読み、笑顔のないロヒンギャ人々の現状を知る。
- ② 思ったことをグループで聞き合う。【ホー・ポノポノ】
- ⑤ グループで出た感想を発表、共有し、自分の気持ちをプリントに書く。

### 2 児童生徒の活動の成果・反応

- ◇ 「ニイハオ。」「オラ。コムエスタス。」等と挨拶を行うことで、言葉の違いを楽しんで活動することができた。また、手本となった日本語以外の言語で話す友達に、称賛する声が挙がったため、普段は言葉の壁があり、なかなか活躍できない子どもが、とても嬉しそうにしていた。
- ◇ 国も家もなくなり、大勢の子どもが殺されている事実を知り、日本とは大きく違うことに衝撃を受けていた。そして、「このままではいけない」という思いを強くもつことができた。
- ◇ 思ったことを聞き合うときは、いつもよりも静かに真剣な面持ちで話していた。そして、思いを聞いてもらえて、スッキリしたようだった。



<個人の感想>



### 3 使用した教材

<教材10> 中日新聞『ロヒンギャ』  
(世界と日本 大図解シリーズ No.1331)



## 9 時限目「中国からの転校生を笑顔にしよう。」

### この時限のねらい

- ・中国から来た転校生の気持ちを考える。
- ・友達の笑顔を増やすために、自分が何をできるか考える。

### 1 児童生徒の活動の流れ

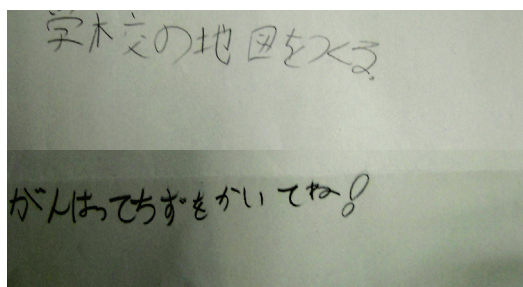
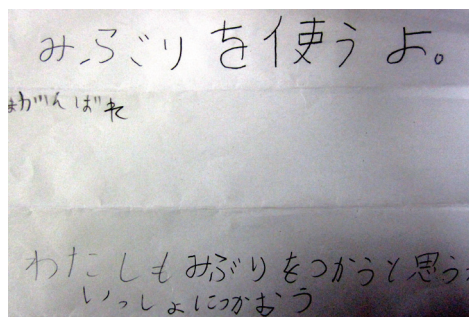
- ① 日本に来て、約 10 日の転校生の気持ちを考える。【ポップコーン】
- ② 転校生を本当の笑顔にするためにできることを考え、共有する。【派生図】
- ③ 自分が転校生にできることを考え、そして、友達が転校生にすることを応援する。

### 2 児童生徒の活動の成果・反応

- ◇ 転校生が日常では、笑顔を見せていることから、初めは特に何もする必要はないと考えていた。しかし、「もし、自分が、言葉が分からないところに行ったら、どうだろう。」と聞くと、黙って考え、「笑顔になれない。」と答える児童が多かった。理由を聞くと、「友達が何を話しているか、わからないから。」「授業もわからないし、遊びも違うから。」と転校生の気持ちを考えることができた。そして、転校生の今の笑顔が、「みんなに気を遣っているのかもしれない」という意見も出た。
- ◇ グループで、「どうしたらいいかなあ」と話し合いながら、できることを考えることができた。そして、それぞれ自分の意見を派生図に書き入れて、たくさんの意見を出すことができた。
- ◇ 「校内を案内する」「笑顔で話しかける」などのグループで出した意見から、自分のできることを考えて、目標を立てたり、友達に励ましの言葉を書いたりすることができた。
- ◇ この授業の後、転校生に声を掛ける子どもが増えてきたと感じた。



<転校生のためにできることの派生図と共有のマーク>



<子どもの行動目標と応援コメント>